



グループホームお正月旅行

今年もグループホームの利用者で、帰る家がない人たちを対象にお正月旅行を企画し、茨城県ひたちなか市に行ってきました。去年三浦半島に行って、房総半島から登る初日の出を見た感動から、今年も初日の出を見たいという彼らの希望を叶えたいと思い、太平洋の水平線が見える海辺の宿に3泊しました。

1日目は、牛久大仏^{うしくだいぶつ}に寄ってから、水戸^{かいらくえん}の偕楽園^{うしくだいぶつ}に行きました。牛久大仏は、銅像としては120mと世界一の高さに、全員見惚れていました。夜は、恒例の紅白歌合戦を見ながら、全員の足の爪切りをしました。2日目、残念ながら雲が多くて初日の出は見ることはできませんでしたが、宿の隣にある酒列磯前神社^{さかつらいそさき}にお参りをしました。大洗マリンタワーとアクアワールド大洗を見学しました。3日目はコキアで有名なひたち海浜公園に行きました。



酒列磯前神社にて

残念ながらアイスチューリップ以外の花はほとんど咲いていませんでした。夜は、霞ヶ浦総合公園のイルミネーションを見学しました。

4日目は、霞ヶ浦^{なめかた}にある「行方やきいもファクトリー」を見学して、東京に帰ってきました。翌日が土曜日のためか、道路が空いていて予定より早くわれもこうビルに到着しました。帰りのバスの中で反省と来年の予定を聞きました。やはり今年に行けなかった温泉に行きたいという声が多かったです。皆さんの声を参考に来年の企画を考えたいと思います。



牛久大仏

◆◆◆ 障害者フェスティバルに参加しました ◆◆◆

去年の12月6日に光が丘区民センターで開催された障害者フェスティバルに、ひだまりの手話クラブが参加しました。前週の大イベント「心の鐘コンサート」が終わってから期間が短く、また今までと違って、今回は手話クラブの単独参加のため、大丈夫かなと心配していましたが、そんな必要はありませんでした。さをり織りのアップリケTシャツを着て臨んだ最後の練習では、緊張している仲間と出番直前まで励まし合っていました。

本番ではそんなチームワークの良さを、笑顔で見せられていたと思います。今年もまた、みんなで笑顔を広げる手話クラブになってくれればと願っています。



各部だより

法人本部

秋の家族会ご報告

昨年の10月16日(木)・25日(土)、練馬区であかねの会の何らかのサービスを利用されている方のご家族全員を対象にした、家族会を開催しました。参加者は45名でした。今年度のテーマは「親が元気なうちに準備できること～成年後見制度など～」として、練馬区社会福祉協議会 権利擁護センター「ほっとサポートねりま」の方にご講演いただきました。利用者のことだけでなく、ご家族ご自身の今後についても考えていただけるよう、終活についてもご講義いただきました。11月11日(火)には、目黒就労支援室利用者の家族会を開催し、同様のテーマを事務局長が説明しました。

成年後見制度について、発達支援室をご利用の親御さんから多くの質問が寄せられました。今後も、ご家族の皆さんの安心を少しでも増やせる内容のテーマを取り上げていきたいと考えています。